



気分転換

「あめあめ ふれふれ かあさんが じゃのめで おむかえ うれしいな ピッチピッチチャップチャップ ランランラン」

私がまだ随分小さい頃、幼稚園から小学校低学年の頃だったと思います。雨が降るとよく友達とこの歌を口ずさんでは、水たまりをバチャバチャしていました。童謡「あめふり」（作詞 北原白秋、作曲 中山晋平）。1925年（大正14年）に発表されたということなので、この歌は、今から100年近くも前に世に出たことになります。

「もっと雨が降ってほしい。お母さんが、蛇の目傘でお迎えに来てくれる。嬉しいな。楽しいな。」

雨は子供にとって、外で遊べない、濡れてしまうなど、どちらかというと後ろ向きになってしまうもの。この歌は、そんな雨を明るい話題に変えてくれています。親子の温かな心のふれあいが表現されています。素敵な歌だと思います。

先日、九州北部地方に梅雨入りが発表されました。これから雨が長く続くものと思われます。太陽の光を浴びることの少ないこの時期は、幸せホルモン「セロトニン」の低下からか、ストレスや不安感を多く抱え込んでしまう時期とも言われています。「どう気分転換をはかるか」大人も子供もこの時期には特に留意しなくてはならないことかもしれません。また、学校とご家庭との一層の連携、情報共有が大切だとも思っています。

ドジャーズの大谷翔平選手が、今シーズンも大活躍しています。メジャーの超一流投手から、ホームランを何本もかつ飛ばす姿を見て、思わず「この人すごい」と漏らしてしまうのは、私だけではないと思います。この大谷選手、メジャーで一番活躍する時期が、日本が梅雨に入ったこの6月のタイミングのようです。ちょっと余談になりましたが、人々に大きな感動と喜びを与える大谷選手の存在の大きさを改めて感じてしまうこの頃です。



暦の話題 「6月は水無月（みなづき）」

旧暦の月名です。漢字では「水がない月」のように書きますが、実は「水無月」の「無」は「の」にあたる助詞です。つまり「水無月」は「水の月」という意味です。田んぼに水を引く時期であることから、「水の月」が「水な月」になり、「水無月」という漢字が当てられるようになったとされています。

6月6日は、午後から6年生がプールをきれいにしてくれました。ありがとう6年生。もうすぐ水泳の学習が始まりますね。

